

新しい学力観で子どもの見方を変える

その子なりの考え方を表現できる「機会」と「雰囲気」を
用意できているか。

静岡大学教授 馬居 政幸



①新しい学力観と生活科

「新学力観が大事なことはわかります。でも、実際にどのような授業をすればそのような学力を子どもにつけさせられるのですか」

最近このような質問を先生方から受けることが多い。だが、私は次のように答えている。「授業の仕方や子どもの学力を問題にする前に、自分自身の子どものとらえ方やかわり方を『見直す』ことから始めてください」

理由は二つある。一つは設立当初から生活科の授業(活動)づくりにかかわってきた研究者の一人として、教師が準備した指導(活動)案を超えて子どもたちが夢中で活動するようになったときに見出される姿こそ、新学力観が志向する子どもの現れと考えるからである。もう一つは、そのような子どもの姿は、子ども自身の変化というよりも、研究者である私の場合も含めて、教師(見る側)の子どものとらえ方やか

②教師が変わり、子どもが変わる

かわり方の変化に応じて現れ(見え)てくることを痛感してきたからである。

図表①が示すように、教師の子どもへの評価は大きく変化している。「動・植物に親しみ」をもち、「工夫」や「表現」や「協力」ができる子どもが多くなり、「企画力」があつて「よく気付く」ことができ、最後まで「やりぬく」子どもも少なからず増えている、と教師は判断している。いずれも新学力観が志向する「肯定的子ども観」の内実を示すものと考える。

次に図表②を見てほしい。「非常な変化」+「変化」の合計が八〇%以上の項目が七つ。最低の「家庭への連絡」でも五九%が「変化」と答えている。すなわち八割以上の教師が「飼育や栽培」、「身近な環境」、「季節の移り変わり」に「関心を持つ」ようになり、「教師間で

③先生、教えてあげる

まず最初に紹介したいのは、リリットル牛乳パックを蜂の巣状に並べ、その一つ一つにコロギや鈴虫を入れて売っていたK君。その発想のユニークさに感動。中井先生に事前指導について伺ったところ、最初は机を並べてカンパンを置くだけだった様子。そのため、先生(N)と

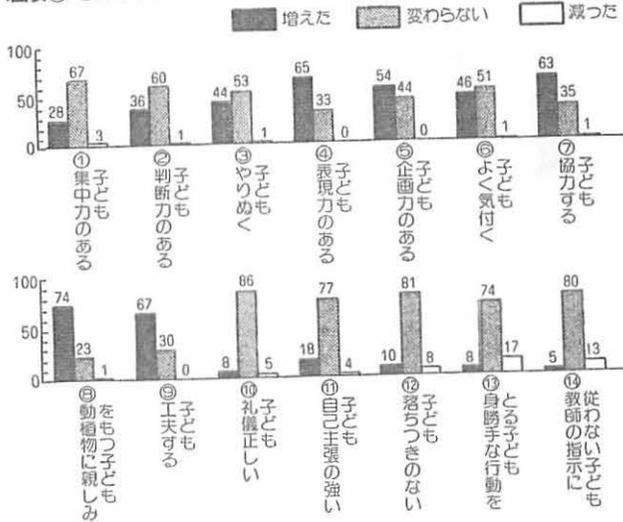
K君との間に次のようなやりとりがなされた。「(N)虫どうやって売の」「(K)ア、ソウダ、牛乳パックでもいい？」(と)いて彼が急いで生活科室から持ってきた牛乳パックを見て、「(N)それに入れるの、虫が見えないよ」「(K)横に窓をあけるよ」「(N)窓から逃げるんじゃない」「(K)ウーン、だいじょうぶ」「(N)そう……」

中井先生は、失敗するのでもいい経験、と思ひK君にまかせた。牛乳パックの上は閉じるものと考えていたからである。だが、当日は蜂の巣状に並んだ牛乳パックの上から虫が一匹ずつ見える見事なショーウィンドーができていた。次は活動の真っ最中に教室の片隅で一人黙々とカッターでスキの穂を切り捨て、残った茎に色を塗っていたI君。私は何を作っているの

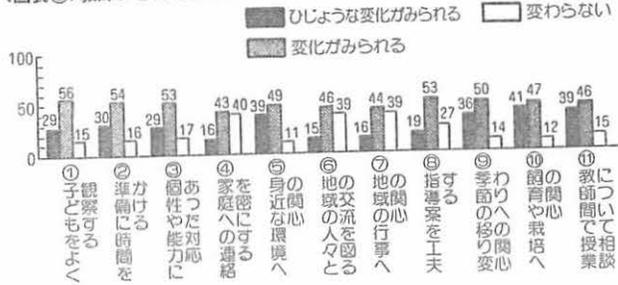
かわからず彼に尋ねた。彼は一言「カタナ」。これには驚いた。スキといえは穂。それを捨て、茎を刀と「見る」ことを考えられなかったからである。中井先生も同じ。準備中、こんなものが売り物になると思えなかつたが、懸命に作っている姿を見て、激励のつもりで色塗りを提案しただけ。ところが開店したら大好評、あわてて増産している場面に私が遭遇した。

(21) 新しい学力観で子どもの見方を変える

図表① ①どんな子どもが増えたか



図表② ②教師にどんな変化がみられたか



※中央教育研究所「生活科の学習環境等に関する調査研究 第3次報告」から

牛乳パックのショーウィンドー、スキの茎の刀剣、ともに中井先生も私も考えつかない商品。牛乳パックの上は閉じるもの、スキは穂が中心、という教師二人の常識が彼らの工夫を評価する目を曇らせた。なぜこのような子ども姿が現れたのか。中井先生は私にもわかりませんが、といつつ次のように話してくれた。「だいたい、みんな私の指導なんか聞かないんです。一学期のころはよく聞いてくれたんですけど。でも二学期になるとだんだん聞かなくなつて。子どもたちが自信をもつたみたいですが、好きなようにやっていたらいいんだって。工夫したり発見したことを先生に教えてあげる。先生のよりもしっかりと面白いのを作ってみよう。先生が知らないものを見つけてあげよう……。私はほめるだけ、教えられることはかりでしたので」

通常、一年生の一学期は先生の話聞けるようにするための学級づくり、本格的な授業は二

学期からと考える先生が多いのではない。中井先生は逆、自分の話を聞かなくなることが一学期の成果。もちろん全く聞かないのではない。先生の予想を超えて子どもが工夫し発見できるようにすることが学級づくりの目的。そのための中井先生が最も気をつけたことは、子ども一人一人に応じて「ほめる」ことと「自信」をもたせることであった。

④子どもを見とる「場」の見直しを

子どものモノの見方や考え方は個性や発達度は、一般的で普遍的なものとしてあるのではない。個別的で具体的な行動の過程にしか現れない。一つ一つの活動の中で見えてくる子ども一人一人の姿の積み重ねの中にしか、その子にとっての「見方や考え方、個性やその育まれる過程(発達特性)」は見出しえない。

さらに子どもの現れは多様な人とかかわりの中で生じる。とりわけ教師の期待に応じて行動する傾向が強いはず。子どもの現れと教師の指導・支援(かかわり方)や予想(とらえ方)は相互に影響しあう関係にある。もし、中井先生が牛乳パックなんてダメよ、ちゃんと虫籠を用意しなさい、と指導していれば、牛乳パックショーウィンドーはできなかったはず。彼の工

夫する意欲もそれが、先生の教えてくれる答えを待つ子どもになっていくであろう。

したがって、子ども見直しの第一の課題は、変化流動する子ども個々の多様な現れを保障する二つの「場の創造」。一つは「雰囲気」、中井先生の「ほめ」で「自信」を与える学級づくりがその典型である。もう一つは「機会」、K君とI君のように、子どもたちの自信は具体的な「活動の過程」でその力を発揮できた。活動が多様であれば発揮できる力も多様になる。この原則は生活科のみでなくすべての学習活動にあてはまるはず。新学力観が子どもの「よさ」を育むことを重視し、「活動や体験」の必要性を強調する理由である。

その意味で、改めて教師としての子どもの見とりを自己評価してほしい。この年齢の子どもの見とりのような見方・考え方をすれば、こんな活動や教材を準備して、という前提で授業づくりを行ってこなかったか。もし自分の予想どおりに子どもが考え行動したと評価する教師は、自己の子ども観や指導のあり方を問い直すべきである。新学力観の目的は「自ら課題を見付け、自ら考え、主体的に判断したり、表現したりして、よりよく解決することができる資質や能力の育成」にある。他方、K君とI君にみるように、子どもの見方・考え方は教師の常識と異なる

⑤子どもの生きる世界は学校の外にも

子どもは大人とは異なる世界に生きる異文化の住人、すなわち「大人の常識の世界(ヒト、モノ、コトの定義、自己と生きる場の見方・考え方)」とは「異質な見方・考え方をする存在」である。この観点から、子ども一人一人に、その子なりの見方や考え方を十二分に表現できる「機会」と「雰囲気」を用意することができたかどうか。これを改めて問うことから見直しの第一歩を進めてほしい。

ところで、一般に異なる世界の住人の理解、すなわち異文化理解において最も重要なのは、その現れの背後にある「生きる世界」とセットで理解することといわれる。子どもの場合も同様である。子どもの生きる世界は学校の教室の中だけではない。外の世界で学び育っている。そこで培った見方・考え方を見出し評価することが、子どものとらえ方やかかわり方を問い直すためのもう一つの課題である。

このことかかわって紹介したいのはコマ屋のAさん。中井先生は彼女を友達の後について活動するおとなしい子と思っていた。ところがなぜか今回はそれほど親しくないYさんとコマ屋を始めた。少し心配したが、Yさんは積極的

な子なので何とかなるだろうと見守っていた。だがリーダーシップを発揮したのはAさん。家から持ってきた大量のダンボールを床と囲いにして卵形の店屋をつくり、コマを入れる小袋を家の包装紙でたくさん作ってきた。

実はAさんの家庭は酒屋さん。彼女の日記には店を手伝う様子がよく書かれていた。だが中井先生は教室の中の消極的な姿しか見ていなかった。中井先生は次のように話してくれた。

「家庭で培った力ですね。自分の力を発揮できる場をやつと見出したんだな、と思いました。だからいつもの友達とはなく、コマ屋をやりたいYちゃんと一緒にだったんですね、私が見方が間違っていました、反省します」

新学力観が活動や体験とともに家庭や地域との連携を重視する理由である。

⑥一人一人に応じた支援を

中井先生は次のようにも話してくれた。

「本番に強い子、っているんですね。その時は悔しくて、あの普段の姿はなんだったんだって。でもうれしんですね。逆に、この子は大丈夫だ、と思ったら大体失敗です。ダメだともイイともきめずに、今日はどうかな、と思いつながら毎日子どもたちに接しているんです。どんな良い子にも波がありますし。心配な子ども

がいても、すぐ手を打たずにじつと待つんです。時にはすぐ声をかける場合もありますが、あんまりはつきりいえないんです。この子には今すぐいなければ、あるいはこっちの子にはしばらく待ってみよう……って……なにか矛盾するみたいなんです……」

教師は活動の場を用意すればすべて子どもにまかせ観察するだけでよいのか。もちろんそうではない。K君のショーウィンドーは中井先生の「虫はどうやって売るのが」という問いかけがあったからこそ生まれた工夫。I君の刀も色を塗るようにとの先生の助言があったからススキの茎ではなく刀であることが明確になった。

このことは、子どもに自分の意欲と実力のズレに気付かせ、努力したり工夫したり教わったりしなければならぬことを自覚させることがあってこそ、それまででないその子どもの力が現れることを示唆している。子どもたちがそれぞれ自分の意欲を自由に発揮できることが大前提。その意欲を、その子なりの結果に結ばせるための努力や工夫の意欲に転化させることができるかどうか。これは教師の子どもへのかかわり方の問題。その困難さと醍醐味を象徴するものが中井先生の「なにか矛盾するみたいなんです」という表現ではないか。そして新学力観が、指導と評価の一体という観点から、あえて

「支援」という言葉を提起した理由と考える。

⑦子どもの「よさ」を育む四つの「みる」

最後に四つの「みる」を提示しておきたい。

①「見る」②「観る」③「診る」④「看る」

教師が自己の子ども観や授業観を一度白紙にもどして、謙虚に子ども一人一人の多様な現れに学ぶことが①「見る」である。その上で一定の学習課題を追求する立場から子どもにかかわるのが②「観る」である。さらに個々の子どもに即した課題や問題を解決する立場からかわるのが③「診る」である。そしてその子なりの成長を支え援けるのが④「看る」である。

さらに、この四つの「みる」の基盤となるのが子どもの「よさ」への思いであることを、私は次の中井先生の言葉から学ぶことができた。「新指導要録になって通信簿をこれで七回つけました。最初は、良いことを書きなさいという指導なので何とか書こうとしましたが、どうしても良いことが見つからない子がいました。でもなんとか見つけなければ、と思って回を重ねていくと、だんだん見えてくるもんですね。悪い所を指摘しなければと思って見ていたのとは違う側面が見えてくるんです。これまで子どもを見ていなかったということなんでしょうか」

総合教育技術 11月号 CONTENTS

network'94 校内牧場で二年生が乳牛を飼育／中学校まるごと美術館 3

ESSAY '94 地球にやさしく? 富野暉一郎 8
 リカの青春 寛 楨二 10
 自立も日本風 橋本ダナ 12



特集

新しい学力観 - 授業はこう変わった

- 新しい学力観と教室の授業 本誌編集部 14
- 新しい学力観ですすめる学校経営 下村哲夫 16
- 新しい学力観で子どもの見方を変える 馬居政幸 20
- 新しい学力観と授業の改善点 高階玲治 24
- 新しい学力観と特別活動 山口 満 28
- 実践レポート／私は授業をこう変えた 32
 (香川県・木太北部小学校、静岡県・岡崎小学校、滋賀県・草津小学校、埼玉県・本太中学校、東京都・落合中学校)

特別企画

問われはじめた校長の力量

- 全国に波及するか? 東京都の管理職成績率導入! 徳武 靖 50
- 勤勉手当の成績判定における判定基準・校長用 52
- 変革期の校長の役割 - 一学校経営はいま"おもしろい" 小島弘道 54
- 各界アンケート/いま校長に期待すること 大石勝男/ほか 58
- 若手教師匿名座談会/たよりにしてます 校長先生 60
- チェックリスト/校長・教頭の自己評価 学校経営研究会 64

■新シリーズスタート ■ わが師・わが友・わが人生(石川忠雄) 66

- 新連載○
 教育の可能性に賭ける - 北星余市より 深谷哲也 70
- 好評連載○
 福祉教育提言 藤本 隆 72
 教育の窓・法律の窓 菱村幸彦 78
 校長7000日 伊藤功一 104
 世界の教育 - ドイツの動き 木戸 裕 108
 教育の旅 川成 洋 112
 学校ことはじめ事典・PART 2 佐藤秀夫 114
 学校の危機管理 平沢 茂 116
 教育法規実務セミナー 下村哲夫 128



11月の学級・学校経営 118 '94学校管理職研修 135

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| ニッポンVIEW A・ハーシグ 87 | 現代人の論壇 具 智英 92 |
| 黒田清のぶっちゃけ教室 黒田 清 88 | おだ辰夫の美学校 おだ辰夫 89-93 |
| こんな私でいから 90 | キリヌキ情報BOX 96 |
| 父母の声、子どもトレンド事情 91 | 子どもウォッチング 五竜健児 97 |
| 教師のための人生相談 伊藤太郎、北崎南薫 94 | 現代教育キーワード 150 |

11月の図書室 坂田松、笠間達男、松下義一 98 著者にインタビュー<田淵義雄> 関口千恵 101

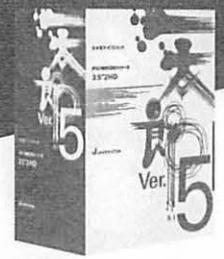
- 12月号予告 48 教育ジャーナル 80 クロスワードパズル 102

(表紙写真) コニフォトプレス (デザイン) 田原幸則、村田忠夫、松本泉夫 (写真) 阪本鉄平、河井邦雄 (イラスト) 伊藤南翠、おてもりのぶお、本田梨子、みみ麻利福、与藤勝美、高木男子

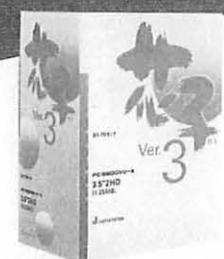


先生のための応援団、全員集合。

テキストやテスト問題など、ジャストシステムの製品が教材づくりをお手伝いします



人気No.1の日本語ワープロソフト[太郎Ver.5]
 ただいま「太郎200万本達成キャンペーン」実施中!
 ●Windows 3.11対応 キャンペーン価格25,000円(税別)
 ●PC-9800シリーズ、DOS/V、J-3100シリーズ、FM R-
 FM TOWNSシリーズ対応 キャンペーン価格各25,000円(税別)



やさしい图形プロセッサ[花子Ver.3]
 手の込んだドリルづくりも簡単。初心者にも優しい設計で、色線も多用した图形やイラストが描けます。
 ●PC-9800シリーズ、DOS/V対応 価格各69,000円(税別)
 ●JW2ユーザーズキット 価格48,000円(税別)



高性能表計算ソフト[三四郎Ver.1.1]
 成績の集計・グラフ化・管理に、棒、円、面、折れ線など
 90種類以上のグラフが利用できます。
 ●PC-9800シリーズ対応 価格38,000円(税別)
 ●JW2ユーザーズキット 価格20,000円(税別)



頼れる日本語データベース[五郎Ver.1]
 生徒の成績や教材もまとめて管理。
 一太郎と花子のファイルを直接格納することもできます。
 ●PC-9800シリーズ対応 キャンペーン価格35,000円(税別)
 ●JW2ユーザーズキット キャンペーン価格20,000円(税別)

JW2対応[数式作成ツールVer.2] 価格28,000円(税別)
 ●対応アプリケーション
 「一太郎Ver.5」「花子Ver.3」「三四郎Ver.1.1」「五郎Ver.1」
 数式作成に必要な記号を豊富に搭載。数式を多用したテスト問題など、より充実した教材を作成できます。

JW2対応[化学式作成ツール] 価格50,000円(税別)
 ●対応アプリケーション
 「一太郎Ver.5」「花子Ver.3」「三四郎Ver.1.1」「五郎Ver.1」
 ペンキ塗りや矢印、結合線などを画面コマンドで用意。
 構造式や組成式など多彩な化学式が簡単に描けます。

花子部品ライブラリシリーズ 価格各15,000円(税別)
 学校実用カット集Vol.1E/学級経営資料集Vol.2E
 物理教材資料集Vol.5E/地学教材資料集Vol.6E
 化学教材資料集Vol.7E/生物教材資料集Vol.8E
 児童が喜ぶイラスト入り文庫が手軽にできます。

一太郎データライブラリシリーズ 価格各15,000円(税別)
 一太郎学校カット集Vol.C3/一太郎実用フォーム集Vol.F1
 一太郎学校カット集Vol.G1/一太郎挨拶カット集Vol.G2
 季節を彩るイラストや教材に便利なイラストを集めました。
 一太郎で呼び出して、利用できます。

[ATOK 8] 価格各9,800円(税別)
 ATOK 8 Ver.1.0/R.1 for PC-9800
 ATOK 8 Ver.1.0/R.2 for Windows
 ATOK 8 Ver.1.1/R.1 for Macintosh
 日本の標準的な漢字変換システムです。

一太郎Ver.5をお持ちの方に、お得なパッケージをご用意しました。
 一太郎Ver.5ユーザーのためのお得なセット、それがJW2ユーザーズキットです。すでに一太郎Ver.5をお持ちの方は、「花子Ver.3」「三四郎Ver.1.1」「五郎Ver.1」をお安
 くお求めになれます。PC-9800シリーズ、DOS/V、J-3100シリーズ、FM R-
 FM TOWNSシリーズに対応します。全国のパソコンショップにて、詳細販売中です。
 ●JW2ユーザーズキットは「ATOKライブラリVer.2」「ATOK8/2」のプログラムは含まれていません。

FAX INFORMATION 0886-55-6600 ① 当社製品、サービスなどのタイムリーな情報を24時間お届けするFAX窓口を新設しました。ぜひ、ご利用ください。
 ② 音声ガイダンスに従って、ご希望の電話番号をご入力ください。
 ③ お手元のFAXに 情報をお届けします。

株式会社 ジャストシステム 三河原Ver.1.1、一太郎Ver.5、一太郎Office、ATOK 8、花子Ver.3、五郎Ver.1、Office Manager 2に関するカテゴリーのご請求、ならびに詳細機能、対応機器など
 のお問い合わせは、インフォメーションセンター(徳島TEL:0886-55-6600)東京TEL:03-5470-6000、大阪TEL:06-7091-6400へおかけください。*価格には
 消費税は含まれていません。*記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。*一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
 本社 〒710 徳島市沖浜東3-45 資料ご希望の方は、資料請求券をはがしに貼って本社までお送りください。●本社 〒710 徳島市沖浜東3-45

発行所
 〒710 徳島市
 沖浜東3-45
 ジャストシステム